

## ■ 旧日本銀行 広島支店

昭和11年に建てられた古典様式の建築。爆心地からわずか380mという近距離にもかかわらず、当時の姿をほぼ残す。地下金庫などこの建物を周遊しながらビデオアートを楽しむことができる。



↑ クラシカルな外観



← エントランス（窓口）

展示会場となる地下、金庫室→

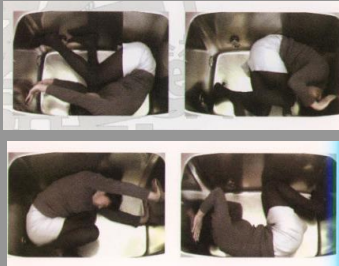


フラクタルなイメージをビジュアル作品として発表する作家のループをテーマにしたシュールな作品  
マニエル・サイス（スペイン）

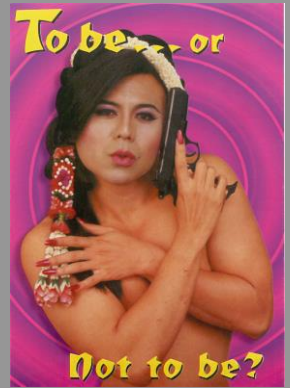


絵画的なディテールとアナログな手法で表現する映像が繰り返すストーリーともいえないテンポの良い場面の重ねあわせが、不思議且つ創造的なイメージを繋げていく。（作品：「念写」）

伊藤存・青木陵子



紙屋町地下街や展示場所となる銀行受付窓口など人の行き交う場所性を本イベントの共通のキーワードとして、今回発表する新宿の地下通路を歩き交う人々をテーマにした作品「新宿パッサージュ」。  
サキサトム



タイと日本の文化や風俗をくっつくのくのないブラックユーモアで面白おかしくドラマ仕立てにした作品

（作品：pussy2）  
マイケル・チャオワナサイ

（タイ）



線描というとてもシンプルな表現で創り出されるアニメーション作品。どことなく奇妙な動きや変化が見るものをほっとさせてくれる。

河野 寛子

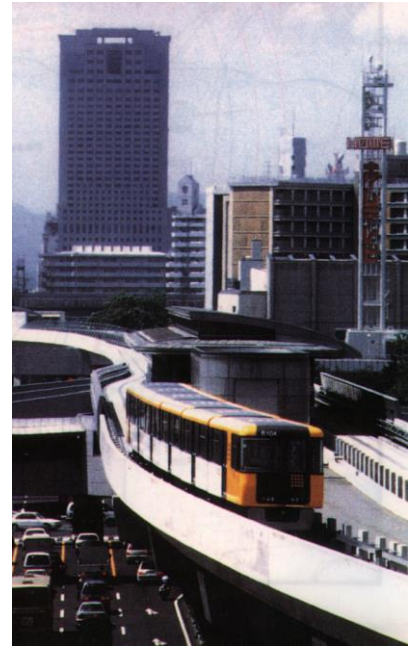


パソコン通信やゲームなどデジタルな現代社会で行われるバーチャルなコミュニケーションを題材に作家の意識やイメージを映像化し、日本人にも共感するオタク的な世界観を表現する。

クリスティン・ルーカス（アメリカ）

## ■ 新交通システム 「アムストラムライン」

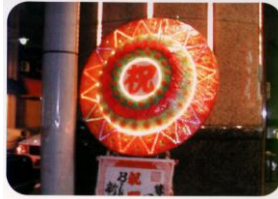
紙屋町など広島市の中心からベッドタウンを結ぶ。  
道路中央分離帯の上空部、及び道路地下空間を走行するバスと鉄道の間程度の輸送力をもつ交通機関。



アムストラムラインを使うことで  
展示会場である広島市立大学へ行く  
ことができ、このイベントの会場間  
を結んでいる。

作家：小沢 剛

市電が賑わう広島市の文化的町並みと都市化することによってつくられた交通システムや地下街を結ぶツールとして、洗練されたアムストラムライン内の空間に昔乍らの街や何気ない広島市の風景が写っている約3000枚のステッカーを貼る。最近見かける車内の窓に貼られている広告ステッカーをイメージしたインスタレーション。それらアートが現代的な空間に侵蝕することで、広島市のアイデンティティを改めて発見することができる。作家自ら広島市の日常風景やレトロチックな街、そして新興地であるアムストラムラインの周りの風景を撮影した。



作家：東恩名 裕一

広告用ライトボックスに映し出される重なった人や日常的な家具をシルエットとして視覚化する。一見センスのいい広告に見えるが、どこか距離感を感じさせる。私たちを取り巻く、西洋化された洒落た生活環境をクールな視点で表現展開をする。

# ■ 広島市紙屋町地下街「シャレオ」恒久設置作品

アートワークコンセプト: スパイラルリング・エナジー

地下街から発信する21世紀の新しい創造エネルギー

アートを鑑賞するだけでなく、訪れた人々が実際に様々な形で体感し、参加することが出来、様々なコミュニケーションを誘発する空間を演出。

アーティストによる作品を展示するばかりではなく、市民が参加するアートプログラムを実施。文化の重要性や豊かさについて考察するきっかけをつくり、参加者一人ひとりが、積極的に広島紙屋町地下街と関わり合っていく意識を促す。



北広場  
(仮称)地上と地下の  
インターラクション



Time Scapes

様々なイベントやアートシーンに対応できるアートで情報発信基地として地下街の核となる空間を演出。自在に動くライトアートとサウンドにより創出。また各広場のモニターにはサウンドと映像を定時に一斉に流す。 [作家: グレン・アレ



西通路  
コミュニティアート  
~かたち~

中央広場  
Time Scapes

Time Scapes

(仮称)軌跡

西広場2

(仮称)共鳴する波紋

西広場1

コミュニティアート  
~ことば~

東広場1

Time Scapes

東広場2

Time Scapes

南広場

水が湧き出る石と、床に施された波紋と共鳴し、また情報の伝達を暗示し、コミュニケーションの拡がりを表現。

[作家: 古渡章]



モニターにアーティストによるサウンドと映像を定時に一斉に流し、地下街全体をみずみずしく演出。

[作家: グレン・アレ  
ン]

光ファイバーにより水の波紋を表現し、中央広場から湧き上がる水の波紋が西広場2に浸透していくイメージ。人が通るとセンサーが反応して光の色が変化。それは投石が創り出す波紋のように、人々の軌跡を表し、人と人の出会い、関わり、また情報の交換を暗示する。

[作家: 藤原隆洋]

